

# 長等学区地区防災計画



令和5年2月

ながらまちづくり協議会自主防災会

## ～ 目 次 ～

1	計画の対象地区の範囲	・・・・・・・・P1
2	基本的な考え方	・・・・・・・・P1
	（1）基本方針	
	（2）活動目標	
	（3）長期的な活動計画	
3	地区の特性	・・・・・・・・P2
	（1）自然特性	
	（2）社会特性	
	（3）防災マップ	
4	防災活動の内容	・・・・・・・・P3
	（1）防災活動の体制（班編成）	
	（2）平常時の活動・事前の対策	
	（3）発災直前の活動	
	（4）災害時の活動	
	（5）復旧・復興期の活動	
	（6）市、消防、他団体、ボランティア等との連携	
5	実践と検証	・・・・・・・・P6
	（1）防災訓練の実施・検証	
	（2）防災意識の普及啓発	
	（3）計画の見直し	
6	参考資料 ※資料5～7は別掲	・・・・・・・・P7
	〔資料1〕地域の連絡網一覧	
	〔資料2〕学区内避難場所等一覧	
	〔資料3〕連絡先等	
	〔資料4〕学区防災倉庫一覧	
	〔資料5〕長等学区防災マップ(土砂・洪水ハザードマップ、水害ハザードマップ)	
	〔資料6〕長等学区避難所支援委員会設置要綱 長等学区避難所運営マニュアル	
	〔資料7〕地域自主防災会防災マニュアル（ひな型）	

# 1 計画の対象地区の範囲

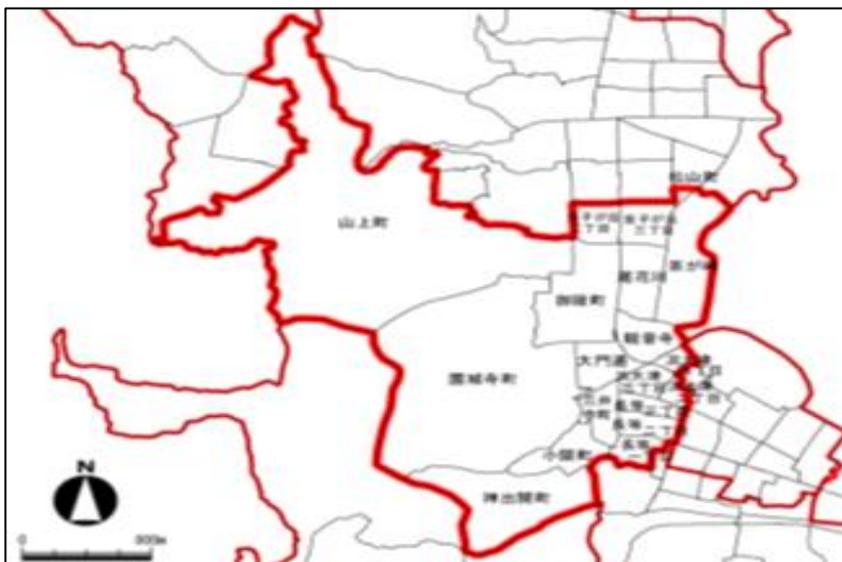
## (1) 対象範囲

### 長等学区

〔参考：学区内47自治会〕

御陵合同、山上町、園城寺町、南別所町、皇子が丘三丁目、北別所町、尾花川、観音寺町、北保町、三保ヶ崎町、下大門町、上大門町、鹿関町、神出、車路町、中北国町、下北国町、今堀町、中保町、川口町、水揚町、東今風町、西今風町、下馬場町、上馬場町、土橋町、上北国町、石橋町、船頭町、枹屋町、西山町、蔵橋町、鍵屋町、菱屋町、石川町、小川町、真西町、長等町、小関町、茶が崎、グランドメゾン浜大津、ロータリーマンションⅢ番館、大津MARY、ブランズ西大津、大津京パークワイツ、ルネ大津皇子が丘、プレサンスレジエント琵琶湖

## (2) 範囲地図



# 2 基本的な考え方

## (1) 基本方針

- 学区民とながらまちづくり協議会が一体となって地域防災力を高め、地域コミュニティを維持、活性化する。

## (2) 活動目標

- 自助、共助、公助の力を合わせて、災害時の被害を最小限にする。

## (3) 長期的な活動計画

- 自治会単位の地域自主防災会の活動を充実し、学区民の防災活動への参加を促進する。
- ながらまちづくり協議会のもとで構成団体が協力し防災体制を強化する。

### 3 地区の特性（出典：大津市防災カルテ長等学区、人口・世帯数は大津市人口統計表）

#### （1）自然特性

##### 〔地形の特徴〕

- ・東部の低地と西部の山地からなり、低地は低平な氾濫原性低地とやや傾斜を持った扇状地性低地に細分される。
- ・茶が崎、尾花川、観音寺、浜大津付近は氾濫源となり、御陵町、大門通、三井寺町、長等付近が扇状地となる。
- ・湖岸部には埋立地が広がっており、扇状地や山地にも人工改変が進んでいる。山地部の大規模な人工地にはゴルフ場がある。

##### 〔防災上の特性〕

- ・南北に通過する比叡断層の周辺が土石流危険渓流に指定されており、豪雨などの場合には、この土石流危険渓流および急傾斜地崩壊危険箇所に警戒が必要である。市街地部の内水氾濫にも注意が必要である。
- ・湖岸沿いの市街地部には、琵琶湖湖面の上昇による浸水想定区域が広がっており、琵琶湖からの浸水にも注意が必要である。
- ・地震時には、山地部で崩壊が生じ、2次的に災害が発生する可能性がある。また、地震発生については、比叡断層が直接活動した場合は断層の周辺部に大きな地表変位が生じる可能性があるが、直接活動しない場合においても、地震の揺れによって、断層通過部付近では、揺れが増幅して周辺より被害が大きくなる可能性がある。
- ・湖岸域では、液状化の可能性もある。

#### （2）社会特性

##### 〔人口・世帯数〕

- ・長等学区の人口は、6,127世帯、12,336人で、男性5,764人、女性6,572人で、一世帯あたりは2.01人である。（市平均2.21人）
- ・65歳以上は3,552人(全体の28.8%)であり、その割合は市平均（27.3%）より高い。（令和4年12月31日現在）

##### 〔その他の状況〕

- ・道路の状況は、国道161号及び県道伊香立浜大津線が南北に通過し、鉄道の状況は、JR大津京駅、京阪電鉄石坂線の京阪大津京駅・三井寺駅・大津市役所前駅がある。
- ・建物の状況は、次のとおりである。住宅密集度は市内学区平均(40.2戸)より高く、木造率は市平均(70.9%)より低いものの、不燃領域率は市平均(64.7%)より低い。旧耐震木造建物の割合は市平均(42.2%)を大きく上回っている。また、いずれの項目も地域により大きな差がある。  
(1)住宅密集度51.6戸 (2)木造率67.9% (3)不燃領域率56.5%  
(4)旧耐震木造建物の割合62.4%

#### （3）長等学区防災マップ〔資料5〕（土砂・洪水ハザードマップ、水害ハザードマップ）

## 4 防災活動の内容

### (1) 防災活動の体制（班編成）

ながらまちづくり協議会の構成団体、学区内防災士により防災活動の体制を次のとおり整備し、平常時および災害時において、各地域自主防災会（自治会）および学区民を支援する。また、今後、各自治会からの参加についても検討する。

#### 〔ながらまちづくり協議会防災体制 組織図・役割分担〕

班名	担当者 (団体名等)	平常時の役割	災害時の役割 (学区災害対策本部)
総務班	自治連合会 自主防災会 防災士	全体調整 関係機関との事前調整	全体調整 関係機関との調整 被害・避難状況の全体把握
情報班	社会福祉協議会 自主防災会 防災士	啓発・広報 情報伝達方法の決定 連絡網の作成	学区内住民および公共機関等からの情報収集・伝達
消火・救出救護班	青少年育成協議会 自主防災会	資機材・器具の整備・点検	消火器・バケツリレーなどによる地域自主防災組織による初期消火の支援 負傷者の救出・応急手当・救護所への搬送
避難誘導班	民生委員児童委員協議会 自主防災会	避難経路の点検 避難行動要支援者の支援体制の整備	住民の避難誘導 避難行動要支援者への支援 在宅避難者への支援
給食給水班	体育文化連盟 自主防災会	資機材・器具の整備・点検	炊き出し等の給食・給水活動 市等への備蓄品の要請

### (2) 平常時の活動・事前の対策

#### 〔地域自主防災会・自治会〕

- ・住民は、家具の転倒防止ができているかどうかを確認し、固定金具や配置換えにより家具の転倒防止を行う。また、家庭内備蓄を行う。（購入→備蓄→消費）
- ・住民は、家族および地域自主防災会単位で避難場所、避難経路、避難所の確認を行い、各地域自主防災会において、〔資料7〕を参考にして防災マニュアルを作成する。
- ・住民は、各世帯および地域自主防災会単位で防災資機材を整備する。
- ・地域自主防災会は、防災マニュアルに基づき年1回、避難訓練・研修を実施し、各世帯への緊急連絡体制を整備する。
- ・地域自主防災会は、避難行動要支援者の把握に努め、会の中でその情報を共有する。

〔学区自主防災会〕

- ・地震発生時の地域避難場所を決定して住民に周知を行う。
- ・災害対応資機材の使用法、避難所運営について年1回、住民を対象とした訓練を行う。
- ・広報紙およびホームページ等により防災知識の普及、防災意識の高揚を図る。
- ・各地域自主防災会における防災マニュアルの作成を支援する。
- ・緊急時の学区内の連絡網を作成する。
- ・住民による避難所運営支援組織を設け、避難所ごとに支援内容を記載したマニュアルを作成し訓練を行う。マニュアルの作成にあたっては、避難行動要支援者への配慮、男女共同参画の視点に留意する。〔資料6〕

(3) 発災直前の活動（気象情報発表・前兆現象の始まりから発災まで）

〔地域自主防災会・自治会〕

- ・住民は、台風や大雨が予想される場合、テレビ、ラジオ、防災メール等により気象情報を確認し、地域自主防災会内で共有する。

〔学区自主防災会〕

- ・台風や大雨が予想される場合、次表のとおり自主防災会役員が支所または避難所に参集し、情報収集、避難者等の支援を行う。
- ・学区内で災害の発生が予想される場合、災害または震度5強以上の地震が発生した場合は、学区災害対策本部を設置する。

警戒2号体制	災害警戒本部体制		災害対策本部
	学区内避難無	学区内避難有又は想定 (避難所開設) 震度5弱の地震発生	学区内災害発生(想定) 震度5強以上の地震発生 →災害対策本部設置
警報発表 大雨・暴風・ 洪水・暴風雪	土砂災害警戒情報等 発表 長等分団参集	土砂災害警戒情報等 発表 避難指示または 高齢者等避難情報発表	
自主防災会役員 自宅待機	自主防災会役員自宅待 機	自主防災会役員各2名 避難所参集 必要に応じ増員	まち協各班員全員参集 (可能な限り)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学区内情報把握</li> <li>・必要に応じ自治会への連絡に協力(役員→防災会長・自治会長)</li> <li>・避難所対応補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学区内情報把握</li> <li>・各班は災害時の活動を実施</li> <li>・各班は避難所対応補助</li> </ul>
	無線機保管者 <ul style="list-style-type: none"> <li>・無線機を通話状態に</li> <li>・役員間で情報共有</li> </ul>	無線機保管者 <ul style="list-style-type: none"> <li>・無線機を通話状態に</li> <li>・役員間で情報共有</li> </ul>	無線機保管者 <ul style="list-style-type: none"> <li>・無線機を通話状態に</li> <li>・役員間で情報共有</li> </ul>

## 〔災害対策本部〕

- ・総務班は、避難情報（高齢者等避難、避難指示）が発令された場合、地域住民に避難誘導班を通じて避難行動を促す。情報班は、連絡網等により避難に関する情報を住民に伝達する。
- ・避難誘導班は、拡声器を用いて避難情報等の広報を行う。

## （４）災害時の活動

〔地域自主防災会・自治会〕 ※資料7の各世帯向けチラシを参照

### ア 身の安全確保

- ・住民は、緊急地震速報が流れたら、あわてずに身の安全を守る行動（姿勢を低く、頭を守り、動かない）を揺れが収まるまで行う。被害が大きい場合は、自治会単位で安否確認をして地域避難場所へ集合する。
- ・風水害や土砂災害については、「避難指示」や「高齢者等避難」等の避難情報に基づき、災害発生前に安全な場所へ水平避難し、周囲が危険な状況になっている場合は垂直避難する。

### イ 出火防止、初期消火

- ・火の勢いが弱い場合は、バケツリレーなど可能な範囲で初期消火を行う。
- ・火の勢いが強く危険な場合は、現場を離れて消防車の到着を待ち、消防団員、消防職員の指示に従う。

### ウ 住民同士の助け合い・救助・救出・避難支援

- ・倒壊家屋等により住民の救出が必要な場合は、救出用具を活用して可能な範囲で救出活動を行う。住民に負傷者がいる場合は応急処置を行う。
- ・避難行動要支援者の安否確認を行い、避難が必要であれば避難支援を行う。

## 〔災害対策本部〕

### エ 情報収集・共有・伝達

- ・情報班は、テレビ、ラジオ、防災メールなどにより、気象情報等の情報収集を行う。
- ・情報班は、支所等の公共機関からの情報を収集し、住民に伝達する。
- ・被害情報や安否情報等は、学区災害対策本部で集約して情報の整理を行う。

### オ 避難誘導

- ・避難誘導班は、地域自主防災会から避難について応援要請があった場合は、当該活動を支援する。

### カ 救出救護

- ・消火・救出救護班は、地域自主防災会から初期消火または救出活動について応援要請があった場合は、当該活動を支援する。
- ・消火・救出救護班は、負傷者に対し止血、消毒、心臓マッサージ等の応急処置を行い、必要に応じて医療支援の要請や病院への搬送を行う。

- キ 避難所運営、在宅避難者への支援、物資の仕分け、炊き出し
- ・避難所が開設された場合、各班は、「長等学区避難所運営マニュアル〔各避難所〕」〔資料6〕に基づき、市・学校および避難所運営委員会を支援する。
  - ・給食給水班は、各避難所での水・非常食の配付が円滑に進むよう準備を行い、備蓄品に不足がある場合は市または協力業者へ要請する。
  - ・避難誘導班は、在宅避難者の情報収集を行い、必要に応じて学区災害対策本部、避難所運営委員会と協力して在宅避難者への支援を行う。

## (5) 復旧・復興期の活動

### 〔地域自主防災会・自治会〕

- ・住民は、被災者に対して安定した生活が送れるようになるまで、住民同士で日常的な声かけ、挨拶、話し相手となり、地域コミュニティ全体での支援を行う。

### 〔災害対策本部〕

- ・情報班は、避難所の掲示板等を活用して被災者支援等の情報の共有を行う。

## (6) 市、消防、他団体、ボランティア等との連携（平常時～復興まで）

### 〔学区自主防災会〕

- ・消防団と連携して防災資機材の点検や放水訓練を行う。

# 5 実践と検証

## (1) 防災訓練の実施・検証

- ・学区自主防災会は毎年11月に学区自主防災訓練を実施する。

## (2) 防災意識の普及啓発

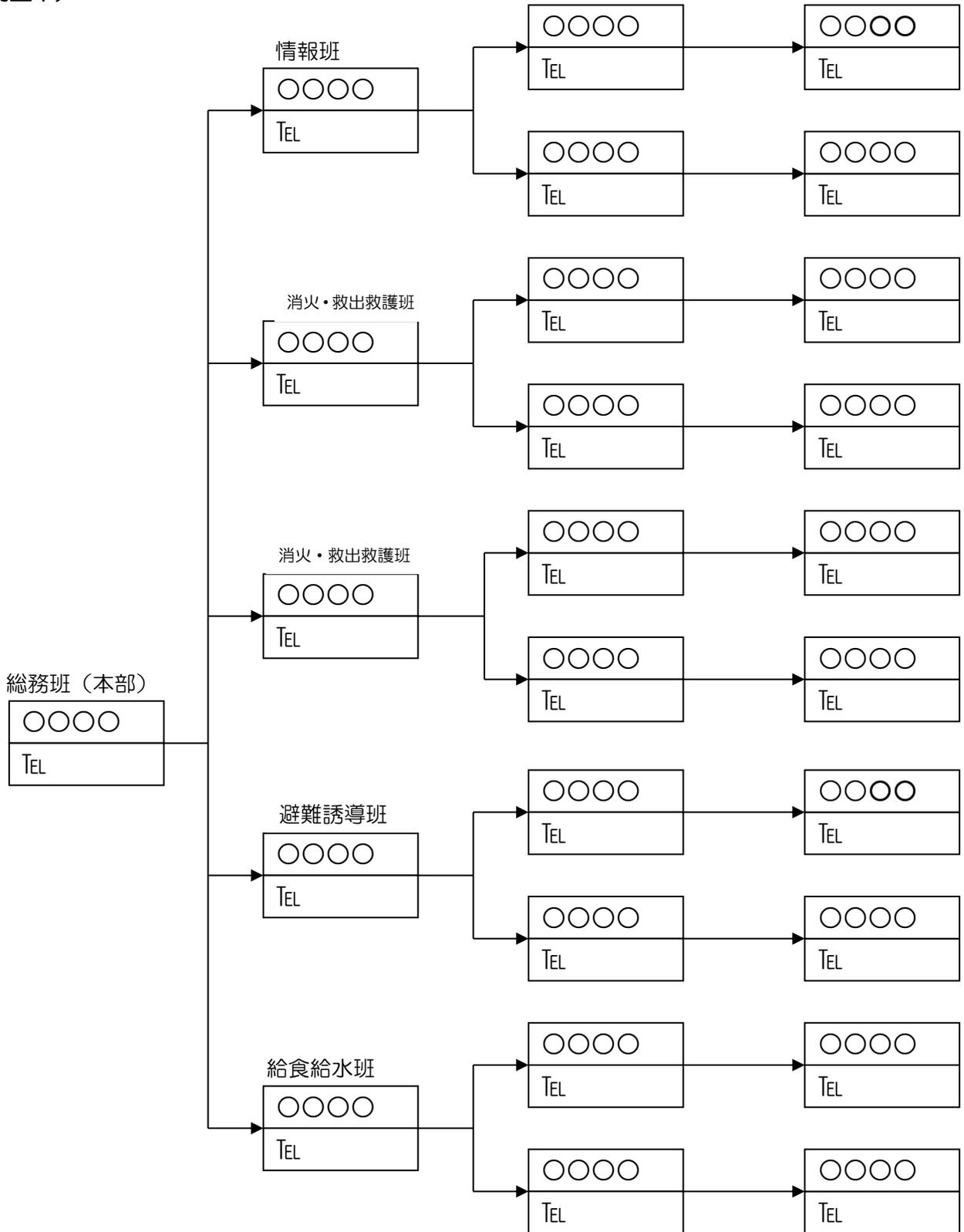
- ・地域の危険箇所、避難場所等について、年1回、自主防災会役員が集まって確認する。
- ・学区自主防災会は年1回研修会を開催し、防災知識・意識を住民に周知する。

## (3) 計画の見直し

- ・地区防災計画、学区避難所運営マニュアルは、毎年3月末までに学区自主防災会役員が1年間の訓練や活動実績を踏まえて、必要に応じ計画の見直しを行う。
- ・見直しにあたっては、避難行動要支援者への配慮、男女行動参画の視点に留意する。

資料1 地域の連絡網一覧

(調整中)



## 資料2 学区内避難場所等一覧

No.	区分	名称	所在地	電話	受入人数	災害種類
1	指定緊急避難場所	長等幼稚園グラウンド	三井寺町 10-30	—	1,085人	地・土・水
2	指定緊急避難場所	長等小学校グラウンド	大門通 5-1	—	6,000人	地・土
3	指定緊急避難場所	皇子山中中学校グラウンド	尾花川町 12-1	—	13,200人	地・土・
4	指定緊急避難場所	大津商業高校グラウンド	御陵町 2-1	—	16,402人	地・
5	指定緊急避難場所	尾花川公園	尾花川町 1	—	2,167人	地・土・
6	指定緊急避難場所	皇子山総合運動公園	御陵町 4	—	151,000人	地・土・火
7	指定緊急避難場所・指定避難所	長等市民センター	大門通 16-40	525-0854	198人	地・土・水
8	指定緊急避難場所・指定避難所	長等小学校体育館	大門通 5-1	522-6669	263人	地・土・水
9	指定緊急避難場所・指定避難所	皇子山中中学校体育館	尾花川町 12-1	522-6674	466人	地・土・
10	指定緊急避難場所・指定避難所	長等幼稚園	三井寺町 10-30	522-3605	95人	地・土・水
11	指定緊急避難場所・指定避難所	大津商業高校体育館	御陵町 2-1	524-4284	814人	地・土・水
12	指定緊急避難場所・指定避難所	市民文化会館	御陵町 2-3	522-7165	114人	地・土・水
13	指定緊急避難場所・指定避難所	県立スポーツ会館	御陵町 4-1	522-0301	559人	地・土・水
14	指定福祉避難所	皇子が丘保育園	皇子が丘 1-20-20	-	158人	地・土・水

## 資料3 連絡先等

連絡先	名称	電話
官公庁	大津市役所	528-2616
	長等支所	525-0854
	国土交通省琵琶湖河川事務所	546-0844
	滋賀県大津土木事務所	524-2812
警察・消防	大津警察署	522-1234
	大津北警察署	573-1234
	大津市消防局	522-0119
	中消防署	525-0119
ライフライン	関西電力滋賀支店	522-2626
	大津市企業局（ガス漏れ）	523-1231
	大津市下水道管理課	528-2764
	NTT 西日本（故障受付）	113

## 資料4 学区防災倉庫一覧

長等学区防災倉庫（長等支所〔支所・防災会〕、長等小学校、長等幼稚園）

区分	品名	支所	防災会	小学校	幼稚園	計	備考
情報伝達 用具	拡声器		5			5	
	トランシーバー		7			7	
消火用具	防災ヘルメット	5	15			20	
	消火バケツ						
	消火器						
救出用具	はしご						
	のこぎり	2				2	
	チェーンソー		2			2	
	バール	2	2			4	
	救助用工具セット						
	スコップ	5				5	
	くわ・カマ・ツル	各1				各1	
	ボルトクリッパー	1				1	
	リヤカー						
	油圧ジャッキ	1				1	
	防塵マスク(20枚)		1	1	1	3	
	ロープ	1				1	
	軍手	36				36	
救護用具	救急セット						
	担架						
避難所運 営用具	電源ドラム	2	1			3	
	投光器	1	1			2	
	発電機(ボンベ4本)	1				1	
	発電機プロパン2本)		1			1	
	ソーラー発電機		1			1	
	蓄電池	1	1			2	
	釜						
	防災テント						
	毛布(10枚入)	2				2	
	エアベッド	6				6	
	車椅子						
	フェイスシールド	5	10			15	
	レインコート・ポンチョ	5				5	
	防護服	1			1		
非接触体温計	1	2			3		

区分	品名	支所	防災会	小学校	幼稚園	計	備考
	マスク(50枚入)	4	15	18	25	62	
	ゴミ袋	20				20	
	レジ袋(100枚)		2	3	4	9	
	タオル(12枚入)	1				1	
	アルコール消毒液	1	5	7	8	21	
	除菌シート(50枚入)	1				1	
	泡ハンドソープ	1	4	13	15	33	
	除菌ウェットテ(100枚)		8	10	12	20	
	ペーパータオル(200枚)	10				10	
	足踏み式ゴミ箱	1				1	
	簡易トイレ		1	12	4	17	
	クラッカー(70小袋)	3				3	
	アルファ化米(50食)	1	4		2	7	
	飲料水(24本)	2	5	7	3	17	

大津市防災倉庫（長等小学校、皇子山中学校）

区分	品名	小学校倉庫数量	中学校倉庫数量	備考
非常食	アルファ化米	250	150	
	クラッカー	350	350	
	飲料水	120	120	
寝具等	毛布	250	250	
	レインコート・ポンチョ	20	20	
	簡易テント	20	20	
	エアベッド	6	-	
	エアマット	10	10	
	段ボールベッド	-	2	
衛生用品	大人用オムツ	288	288	
	子ども用オムツ	200	-	
	生理用品	104	104	
	除菌シート(50枚入)	4	4	
	フェイスシールド	20	20	
	タオル(12枚入)	5	5	
	ゴミ袋	50	50	
	足踏み式ゴミ箱	1	1	
	簡易トイレ	5	5	
	簡易トイレ処理袋	250	250	
	非接触型体温計	1	1	

区分	品名	小学校倉庫数量	中学校倉庫数量	備考
	マスク	200	200	
	泡ハンドソープ	5	5	
	アルコール	1	1	
	ペーパータオル (200 枚入り)	10	10	
	使い捨て手袋	200	200	
その他	リヤカー	1	1	

※長等小学校体育館内に蓄電池 1 台を配備